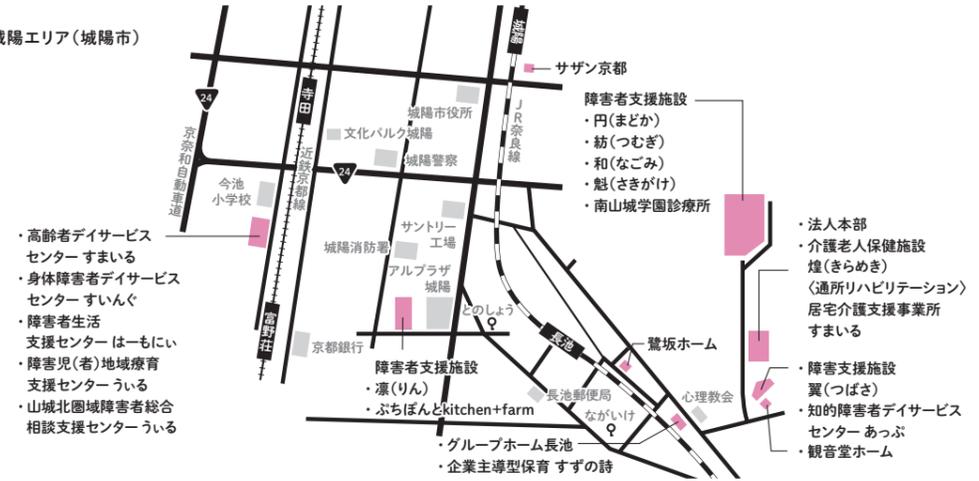


特集  
多様な価値観を尊重できる  
働きやすい職場づくり



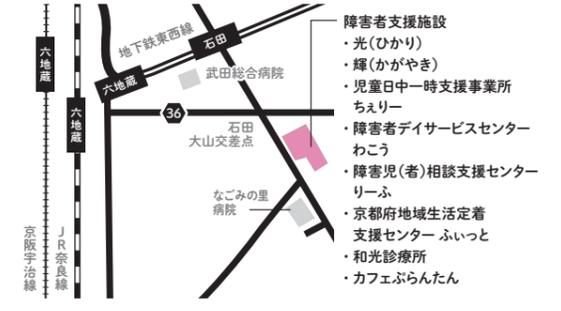
### 城陽エリア(城陽市)



### 京都市中京区・下京区エリア



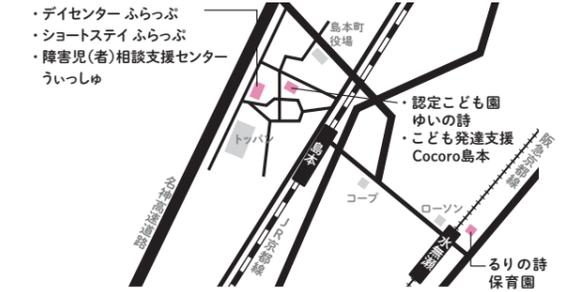
### 醍醐エリア(京都市伏見区)



### 宇治エリア(宇治市)



### 島本町エリア(大阪府三島郡)



## 編集後記

今号は「働きやすい職場づくり」をテーマにお送りしました。テーマと向き合う編集部からのそれぞれのコメントを、編集後記とさせていただきます。

最近話題の職場の「心理的安全性」とは、単に居心地が良いだけでなく、職員の成長意欲を高める環境づくりが重要とされています。利用者様の幸福追求に向けて、職員同士が学び合える職場を皆でつくりあげていきたいと思っています。(TO)

「人を支える仕事、自分も周りも元気でないとね。就活中の学生さんとよくこのような会話をします。条件や制度が整っていることはもちろん大事ですが、私たち職員一人ひとりがより良い環境づくりを担うという意識を持ち続けたいです。(AS)



特集

## 多様な価値観を尊重できる 働きやすい職場づくり

南山城学園では、利用者様一人ひとりの尊厳を守り、一人ひとりのかけがえない人生に寄り添い、ともに幸福を追求してきました。このことは、利用者様への支援にとどまらず、「人を支えるのは人しかない」現場において、職員同士の多様な価値観を尊重し合うことも重要だということ。だからこそ、職員にとって魅力ある職場を追求することが必要です。そこで今回は、多様な価値観を尊重できる働きやすい職場づくりの取り組みについてご紹介します。

## 魅力ある職場づくりを目指して

「人を支えるのは人しかない」。その言葉を信念とする私たち南山城学園が大切にしているのは、やはり人です。障害のある人、高齢の人、子どもたちに寄り添い、手を差し伸べるのが私たちの仕事です。だからこそ、手を差し伸べサポートを行う職員の間にも、同じように大切にしたいと考えています。なぜなら、よりよい支援を行うためには、支える人も元気で

あるべきだと思っからです。そのために、南山城学園では、誰もが働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

令和6年7月1日より、これまでの「4週6休制度」から「4週8休制度」に移行し、年間休日を季節休を含む「108日」から「120日」に増やしています（一部の事業所では令和6年4月1日から移行）。これにより1日の勤務時間は、「1日7時間10分」から「1日7時間30分」となり、メリハリのある勤務体系となりました。

また、大卒の初任給を、現行20万59千円から24万円に引き上げを実施しました。これに伴い、2年目以降の基本給も引き上げとなっています。今回の給与引き上げを通じて、他産業とも遜色のない賃金水準を実現し、さらなる処遇改善に努めます。

待遇面と同時に、職員が成長できる仕組みづくりにも力を入れています。人材育成を行うため「人材育成マスタープラン」を策定し、「新研修体系」と「個別研修計画」の2点を柱に進め、教育制度の充実と「見える化」に注力した結果、新卒採用における応募数の増加と早期離職者の減少などに効果が現れていました。

そのほか、法人の行動規範に沿った成長ステージを6段階に定義し、研修プログラムを体系化。成長ステージごとに求められる能力を項目としてあげ、職場内で開発していくものと集合研修等を活用して能力開発するものを区別し、働きながら力を発揮し成長できる仕組みを構築しています。

職員の頑張りをライフスタイルに応じて選択できる、複合型キャリアパスも導入しています。1〜2年目「ジュニア」、3〜5年目



「ミドル」、6年目以降は「シニア」「エキスパート」層を設けることで、管理職だけでなく、高度な専門性によって法人のみならず社会福祉業界に貢献していくキャリアも描けます。

以上は取り組みの一例であり、より働きやすい環境を常に模索しています。職員の多様な価値観を尊重することで、利用者様によりよい支援を行えるようになる。そんな好循環が生まれる職場を、これからも目指し続けます。



# 多様な人材の採用と育成のために

人を大切に、多様な価値観をもつ人材を育成するとともに、南山城学園のノウハウや技術を、他国にも技術移転し、世界中の福祉も上げることができれば。その思いのもと、当法人では、令和6年からEPAによる外国人介護人材の受け入れを開始しました。介護業界におけるEPAとは、経済活動の連携の強化の観点から、介護

福祉士候補者の受け入れを実施するというものです。同年12月より、フィリピン人介護福祉士候補生2名が介護老人保健施設「煌」に着任することになっています。

EPAにより実際に日本で介護人材として働くためには、厳しい基準をクリアしなければなりません。たとえば、一定以上の日本語能力がなければ、EPAによる介護福祉士候補生として入国を許可されないのです。訪日前に6か月の日本語研修を受け、厳しい基準をクリアするためにまずは日本語を習得します。訪日後も6か月の日本語研修を受け、さらには介護導入研修や就労ガイダンスを受けたのち、いよいよ介護施設での雇用契約に基づき就労します。働きながら継続的に研修にも取り組み、学び、最終的な

ゴールとして、介護福祉士国家試験の合格を目指します。

南山城学園では現在、管理職と主任を中心にEPA委員会を立ち上げ、外国人介護人材の受け入れ準備を進めています。当法人の介護における業務マニュアルや日報をわかりやすく作成するなど、今働いている職員と同様に、働きやすい環境づくりを心がけています。日本特有の繊細なコミュニケーションについても、一緒に勉強できる研修も考えています。

国家資格の取得だけをめざすのではなく、当法人で働く職員と同じように研修を受け、科学的根拠にもとづいた高度な支援を学び、身につけていただきたいと考えています。介護技術だけでなく、目の前の人の尊厳を守る基本理念か

ら、福祉人としての成長も大いにしていただき、自国に帰っても当法人で身につけたことを活かせるようにしたいと考えています。

また、当法人での就労・研修を通じて、介護に関する高い専門性はもちろんですが、地域への活動や人との交流から日本の文化や伝統も学ぶ機会になれば幸いです。当法人にとっても、フィリピン人介護福祉士候補者の受け入れを通じて、多様な価値観に触れることができます。職員にとっても、お互いの価値観を認め合い、人との向き合い方をアップデートできる絶好の機会になると思います。

外国人介護人材の受け入れを通じて、人を尊重しながら楽しく長く働ける組織風土が醸成されることを期待しています。



## 働く現場の声



介護老人保健施設 煌  
事業統括  
大矢 真弓

### 高め合える仲間へ。

EPAによる外国人介護人材の受け入れについて、どのような体制で行われていますか？

まずは受け入れ準備を進めるためのEPA委員会を設置。管理職と主任を中心に構成したメンバーで、それぞれの役割分担を明確にすることからはじめました。国が定めた受け入れ準備項目に対して、南山城学園としての対応をリストアップし、進捗管理をしています。外国人介護人材用の日報のフォーマット作成から住居や銀行口座に至るまで、少しでも不安を

やわらげる丁寧な準備が大切です。なかでも、職員への異文化理解研修は、煌の職員全員を対象にして実施する予定です。一丸となって取り組むことで、互いの価値観を認め合える土壌づくりをめざしています。

外国人介護人材に、どのようなことを期待していますか？

南山城学園が培ってきたノウハウや風土を共有し、いっしょに歩んでいくことのできる仲間になれたらと考えています。また、外国人介護人材の受け入れにより、職員にとってもいい刺激になると考えています。フィリピンから来られる2名の候補者は、ものすごいスピードで日本語を学び身につけながら、介護福祉士をめざしています。そのパワーは見習うべきものがありますし、共に成長できるいい相乗効果が生まれれば、だからこそ心から安心して働き、「煌に来てよかった」と思ってもらえることが今の目標です。

## 働く現場の声



介護老人保健施設 煌  
介護職員  
せき 石 謹 睿

### やりがいも、思いやりも、ある職場。

日本での介護職員としての仕事のやりがいや魅力はなんですか？

日本の福祉は先進的です。人と関

わり、人を支えて、人に支えられている。こうした営みを直に感じ、気づきを得て、やりがいを感じています。利用者様から学ぶことも多く、ときには大きな感動もあります。

日本での職場はどのような雰囲気ですか？働きやすいですか？

地域を巻き込み支援やイベントを、利用者様と一緒にやりたいながら、法人理念を実現しているところに魅力を感じて当法人に入職しました。互いを思いやり、助け合える風土なので、国籍を問わずとも働きやすいと思います。



# 新卒採用職員紹介

私を〇〇に例えると

2024年度は25名のフレッシュな職員が入職しました



佐藤 美花

障害者支援施設 輝

長い首をもつキリンのように、広い視野で物事を見て考え、穏やかな心をもって日々成長していきたいです。



向井 彰宏

障害者支援施設 光

うさぎのように広い視野と大きな耳で利用者様の些細な変化にも気付ける職員になります。



宮本 裕矢

障害者支援施設 凛

各駅に停車し、全てのお客さんを乗せて安心を運ぶこだま号のように、全ての利用者様に寄り添いながら安心を提供できるように頑張ります。



岸田 慈美

地域福祉支援センター島本

何事にもブレずに、自分らしく前進し頑張ります!!



今田 世詩香

グループホーム支援室

自分の決めた目標に全力笑顔で猪突猛進するからです。



山田 一心

障害者支援施設 輝

梅には様々な持ち味があり、魅力的な果実です。そんなユーモアあふれる存在を目指しています。



中田 こまち

障害者支援施設 円

私のはたらきで、まわりの人のポジティブなマインドをビッグにします!



高橋 莉里香

障害者支援施設 円

「虹を見ると人は自然と笑顔になる。」私も利用者様に笑顔になっていただけるよう、思いやりを持った温かい支援のできる職員になりたいです。



生田 一成

障害者支援施設 円

イルカのように好奇心旺盛で創造性もあり、皆さんとコミュニケーションをとりながら、学び続ける存在へとなっていきたい。



村上 誠一

介護老人保健施設 煌

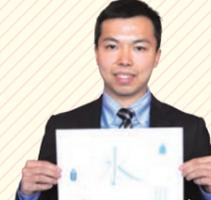
私は何事にもポジティブに捉え、周りの心を暖めたりやる気を出せるようにしたりと状況に応じて色を変え、皆を照らすLED電球だと思ふ。



野原 和果奈

介護老人保健施設 煌

どんなときでも目印(光)となる非常口マークのように、利用者さんやご家族さん、地域の方々の相談を受け止める窓口となれるようがんばります。



石 謹睿

介護老人保健施設 煌

水のように、環境に応じてカタチを変えるような柔軟さと自分の身を呈して低い立場に置くような謙虚さが私の生き方だと考えているからです。



久保 香奈

障害者支援施設 魁

好奇心旺盛にいろんなことに興味をもっています。いつでもアンテナをはって、軽やかに動きまわります!



北村 一步

障害者支援施設 魁

硬い状態から柔らかくなってほぐれた時に自分の真価を発揮できると考えているから。



長田 千紘

障害者支援施設 魁

見た目は柔らかいけれど、食べると意外と芯があり噛みごたえがあるマシュマロのように、中身は芯があって、自分の考えをしっかりと持っているから。



出口 杏

認定こども園 ゆいの詩

それぞれのカタチに沿ってあたたかく寄り添うことができる人になりたいです。



田邊 彩乃

認定こども園 ゆいの詩

りんごのようにほっぺは真っ赤!だけどもそれは情熱と愛情の示し♡元気いっぱい頑張ります!!



赤塚 晴菜

認定こども園 ゆいの詩

ひまわりのように、明るく元気いっぱい周りの人を笑顔にします。また、先輩や子どもたちから得た学びを吸収し、スクスク成長していきます。



森 裕加

障害者支援施設 和

黒(知識)をよく吸収し、美しい字を書けるように(良い実践ができるように)頑張ります。使えば使うほど良いものになりたいです。



田中 胡太郎

障害者支援施設 紡

玉ねぎが主役でなくとも料理にかかせないように、利用者を中心にしながら必要とされる存在になれるように頑張ります!!



毛呂 心咲

障害者支援施設 紡

コツコツと最後までやり遂げることができるからです。不器用で時間はかかりますが、一つひとつのことに丁寧に取り組んでいきたいです。



2024年度 新規採用総合職員研修出席者



淵ノ上 蒼夏

認定こども園 ゆいの詩

花のように上を向いて笑顔で頑張ります。周りのみんなも笑顔にできる人になりたいです。



神戸 舞

障害者支援施設 凛

少し人見知りなところがありますが、背筋をのばして気持ちよく利用者様と関わります。



武田 希光星

障害者支援施設 翼

スポンジのように、素直に人の話を聞き入れ、柔軟な対応を取れるになりたいです。また、これからたくさんのごことを吸収していきたいです。



大西 杏実

障害者支援施設 翼

自然と人が集まり、利用者様だけでなく、施設全体をあたたかい雰囲気を作っている存在になりたいからです。